



校長室だより

第 4 2 号
(通算第 9 5 号)
令和4年12月20日(火)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

インターネットに関わるトラブル防止講話

19日(月)、3校時に6年生が、古川警察署生活安全課の横山素之様、大崎市青少年センターの千葉光弘様にお越しいただいて、教室で講話を聴きました。



はじめに「STOP TO THINK (立ち止まって考えて)」のDVDを視聴しました。ランサムウェア、フィッシング詐欺など、インターネット上のお金の問題を扱ったDVDでした。

「ランサム」とは誘拐という意味があるそうです。スマホを人質にとるということから、そのように呼ばれているそうです。「だまされることが必ずある」という認識を持つことが大切なのだそうです。

次に横山様からのお話です。大きく2つのお話でした。一つ目は、「最近の県北地域で未成年者に多い問題行動」について。二つ目は「インターネット安全利用のアイコトバ」についてです。

最近、小学生では男女ともに、「ゲーム・動画依存からの家庭内暴力」が増えている。中学生の男子では「オンラインゲームでのけんか」、女子では「頼まれての裸の自撮り・SNS送信」が多いそうです。これらの現象は10年前にはなかった問題で、被害が低年齢化しているのが特徴というお話でした。

「インターネット安全利用のアイコトバ」は「じよいふる」です。

じ 「自画撮り」はしない・送らない!

ネットで知り合った人等から脅されたりして、自分の体をスマホ等で撮影することを自画撮りと言います。写真は悪用されることがあるので、絶対送ってはダメ。

よ 夜は携帯をつかわない

夜遅くまでスマホばかりしていると勉強ができなくなってしまいます。ゲームのやりすぎで朝起きることができず、生活リズムが崩れて不登校になる人がたくさんいます。

い 意地悪言わない・書き込まない

相手を傷つけるようなことを書きこむことは絶対にやめましょう。インターネットは顔が見えないので、相手に気持ちが伝わらず、トラブルになりがちです。

ふ フィルタリングで自分を守ろう

フィルタリングは危険なサイトから自分を守ってくれる味方です。ネット端末を購入するときには必ず家族に設定するように話をしよう。勝手に外すことはリスクがあります。

る ルールを親子で話し合おう

ケータイ・ゲームは〇時まで、「課金制限」など親子でルールづくりをしましょう。長所と短所を整理してから使いましょう。

子供たちは、横山様の話を真剣に聴いていました。今回は6年生が代表して、インターネットに関するお話を聴きましたが、どの学年にも関わることです。インターネットは便利なツールですが、自分が被害に遭うかもしれないし、誰かに被害を与えてしまうこともありうる、ということをしっかり覚えておく必要があります。

最後に横山様が、「インターネットの危険性などを検索することが、インターネットを使う上でとても大事なこと。」とおっしゃっていたのが印象的でした。